

様式第1号

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

①第三者評価機関名

一般財団法人大阪保育運動センター
福祉サービス第三者評価事業室

②施設・事業所情報

名称：米田西保育園	種別：保育所
代表者氏名：若林宏子	定員（利用人数）： 150(158) 名
所在地：兵庫県高砂市米田町米田190	
TEL 079-431-1417	ホームページ：よい子ネット
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2014.4.1.	
経営法人・設置主体（法人名）：社会福祉法人はとのさと福祉会	
職員数	常勤職員： 23 名 非常勤職員： 23 名
専門職員	(専門職の名称) 保育士 28 名 保育補助 19 名
	栄養士 1 名
	調理員 4 名
施設・設備の概要	(居室数) 8室 (設備等) ホール、調理室、事務室
	建物面積（保育所分）1,115.80㎡ 園庭面積 967.7 ㎡

③理念・基本方針

理念 すべての人が人間らしく働き、より豊かな子育てをするために最善をつくします。
子どもたちが人と共に生きてゆく力をつけ、どの子も伸びる保育をめざします。
基本方針 子どもたちを真ん中に保護者と保育者が手をつなぎ、
大人も子どもも共に育ちあう保育園

④施設・事業所の特徴的な取組

①利用者の要望に応えた一時保育や延長保育の事業を実施しています。一時保育は受け入れる前の面談などで親子の置かれている事情を理解し積極的に受け入れています。20時まで実施している延長保育では軽食を提供してお腹を満たして保護者を待てるようにしています

②公立保育園の民営化受託園として、保護者の不安やとまどいを少しでも解消できるように懇談会や連絡ノートなどで保護者の願いに耳を傾け、米田西の保育を伝え続け保護者と子どもたちが安心して保育園生活を過ごせるよう関係づくりを大切にしています。

③食を大切にしています。食は健やかな心と体を育むために大切だと考え旬の素材をとり入れながら園独自で米田西の園児の身体の特徴をふまえた献立を検討しながら取り組んでいます。又食育を充実させるために栽培や行事食などにも取り組んでいる途中です。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成28年 9月13日（契約日）～ 平成29年2月25日（評価結果確定日）
受審回数 (前回の受審時期)	初回（平成28年度）

⑥総評

※当評価機関は独自に在園時保護者アンケートを実施し評価の参考にしています。
 ※全国社会福祉協議会の評価基準ガイドライン改定に伴って、兵庫県の評価基準も2016年度から改定されました。評価項目ごとの「a b c」の評価は兵庫県の評価基準と判断基準に従っています。
 「a」判断基準(取組)すべて実施している、「b」判断基準(取組)の一部を実施している、
 「c」判断基準(取組)のいずれも実施していない

◇特に評価の高い点

高砂市の公立保育所の民間移管を、はとのさと福祉会が受諾し、2014年4月1日米田西保育園として開園しました。移管前は150名の定員のところ入所児童は60余名でしたが、この3年間、地域や利用者の要望に応え、一時保育や20時までの延長保育を実施し、現在158名の園児の保育をしています。18:00には、延長保育に登録している子どもだけでなく、その時間帯に残っている子ども全員に、保護者負担なく軽食を提供しています。

現在の建物は老朽化と同時に子どもたちが生活する場として適当でない箇所があります。この間、高砂市に働きかけ続け、市の内諾も得て2018年を目途に園舎の建て替え計画が具体化していきます。

開園から3年、園長を含めて4名の管理者体制のもと、「職員が働き続けられる職場」の運営に心を砕いています。子育て中の職員が半数以上いますが、退職者なく働き続けている現状は高く評価できます。

毎日の給食は、旬の食材を取り入れ、工夫されています。

必要な書類は適切に整理し記録しています。

◇改善を求められる点

かねてより看護師の採用を計画しています。医療職給与は単価が高く、求人広告に出すものの、採用することに至っていない状況です。早急に善処されることを期待します。

2018年に建て替えを予定していますが、2歳児が毎日利用するトイレが部屋から遠いところがあり、特に冬期や雨天時は(テントを取り付けて工夫はしていますが)2歳児としての生活習慣を身につける上で、子どもたちにとって大きな負担となっています。改善を望みます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

民間移管より3年目を向かえ、保育や職員の資質向上に向けて第三者評価を受審しました。職員全体で自己評価を行うことで、日常保育を振り返り会議のあり方や保育計画を検討し改善に努めていきたいと考えています。

保育環境についても、園舎建て替えの中長期計画の中で改善できるよう努めていきます。

保護者や地域へ、理念や事業計画について情報公開をしていきます。

保護者同士がつながる機会をつくり保護者会づくりの援助をしていきます。

評価を真摯に受け止め、子どもたちの最善の利益を考慮し、職員集団としての質の向上に努めていきます。

地域の子育て支援センターとして役割が果たせるよう取り組んでいきたいと考えています。

⑧各評価項目に係る第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・(b)・c
<p><コメント> 理念や基本方針は明文化しており、年度当初の職員会議などで確認しています。保護者への周知も「入園のしおり」に明記し説明もしていますが、当機関が独自に実施した保護者アンケートでは、今後も折に触れ確認することの必要性も感じられますので、引き続きの課題とすることを望みます。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	(a)・b・c
<p><コメント> 法人連絡会議を定期的に持ち、常に保育園を取り巻く環境や経営状況を把握し意識化の努力が見られます。法人連絡会は、理事長、両園長、はとのさと代表主任、米田西副園長で構成しています。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	(a)・b・c
<p><コメント> 経営状況や改善すべき課題について、職員会議で明らかにし、職員に周知しています。また、建物の老朽化について専門機関と相談して、「建物総合診断」を実施するなど具体的な取り組みを進めています。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	(a)・b・c
<p><コメント> 理事長のよびかけで将来検討委員会（理事長、理事若干名、両園長、はとのさと代表主任、米田西副園長）を立ち上げ、中長期計画についての集団論議をして計画の策定をしています。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	(a)・b・c
<p><コメント> 主に建て替え計画の実現のための、具体的な取り組みが進められています。単年度では建て替え計画の実現のために、市の認可を得るための働きかけを強化しています。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-①職員参加のもと、事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	(a)・b・c
<p><コメント> 事業計画について年度末に職員会議でていねいに説明し、職員参加のもと評価・見直しが行われていることを会議録で確認しました。</p>		

7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・(b)・c
<p><コメント> 年度当初の入園説明会などで説明しているが、周知という点ではより一層の工夫を期待します。特に建て替え計画については市の認可の見通しが立ったこともあり、今後はより具体的に保護者周知を図るよう期待します。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・(b)・c
<p><コメント> 福祉サービスについての振り返りはしていますが、現行保育所保育指針で求められている「保育園の自己評価」の取り組みをする中で課題を明確にすることを期待します。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・(b)・c
<p><コメント> 園の自己評価に取り組むとともに、今回の第三者評価の受審を活かして、職員間で課題の共有化を図り、全職員の参画のもとにより一層サービスの質の向上に向けた取り組みを進めることを期待します。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	(a)・b・c
<p><コメント>職員ハンドブックの中に、「職務分掌」が明示され、不在時の副園長の対応も明らかにしており、職員に対する周知は会議録で確認しました。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	(a)・b・c
<p><コメント>法令は、誰でもすぐ見ることができるよう所定の棚に置いています。渡せるものは印刷して渡しています。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	(a)・b・c
<p><コメント>管理者が、福祉サービスを受ける人々の立場に立って、副園長や主任と分担しながら、子どもの気持ちや保護者の思いを大切にする保育を3年間指導理念として実践してきました。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	(a)・b・c
<p><コメント>人事、労務、財政について中長期的展望を持つ「将来検討委員会」の討論を踏まえ指導力を発揮しています。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・(b)・c
<p><コメント>計画はあるけれど、保育士不足の中、計画どおりに人材の確保ができていない現状があります。今後に期待します。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	(a)・b・c
<p><コメント>子育て中の職員が半数以上と多い中、離職がほとんどない現実は高く評価できる人事管理の結果と考えられます。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	(a)・b・c
<p><コメント>時間外労働、休暇取得等データを分析しながら職員面談で、働き続けられる職場づくりの取組をしています。インフルエンザの予防接種や親睦の企画など福利厚生にも力を入れています。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント>研修等力を入れて取り組んでいますが、保育観を共有するには時間が必要です。今後に期待します。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	(a)・b・c
<p><コメント>職員に対する全体的研修計画が立てられています。特に、法人研修、園内研修、採用年度に合わせた研修等力を入れて取り組んでいます。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	(a)・b・c
<p><コメント>法人連絡会でも検討し、法人内研修も含め園内外への研修への積極的参加を促しています</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・(b)・c
<p><コメント>「実習生受け入れマニュアル」に基づき、移管後3年目の今年初めて受け入れの取組を実施しています。今後多くの職員が経験することで、よりスムーズにかつ効果的な受け入れができることを期待します。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・(b)・c
<コメント>事業計画、事業報告、予算、決算等についても情報公開の工夫が求められます。		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・(b)・c
<コメント>より公正で透明性を高い、専門家からの指導を受けるのが望ましいです。		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	(a)・b・c
<コメント>保育課程の中でも明文化され、地域のコンサートへの参加、老人福祉施設の訪問、公民館での作品展示、ゴーヤのカーテンづくりなど、地域との交流に積極的です。		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	(a)・b・c
<コメント>学校教育（中・高）への協力。月2回5歳児対象に民舞の指導に来てくれる方や野菜の苗を届けてくれるボランティアさんもあり、「受け入れマニュアル」に従って実施しています。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・(b)・c
<コメント>地域の関係機関との連携の努力は見られますが、ネットワークができていないので、保育園からも発信して実現することを期待します。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a・(b)・c
<コメント>保育園の機能を地域に還元する努力は数々見られますが、災害の時の地域の中での役割も含め、協力体制の確認は今後の課題です。		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・(b)・c
<コメント>民生委員との連携を大切にし、地域の福祉ニーズの把握に努めていますが、地域貢献に係る事業・活動は今後の課題です。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント>理念でも大事にし、共通理解を持って保育にあたる努力をしています。しかし、当評価機関が実施した保護者アンケートの中にも触れられていますが、保育の中での子どもに対する接し方の違いも見られます。今後、子どもの年齢や発達に見合った保育実践を目指し、一層の努力を期待します。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	(a)・b・c
<p><コメント>職員ハンドブックに「個人情報保護」に対する基本方針があり、職員採用時に、守秘義務の誓約書を交わしています。保護者とも承諾書を交わしています。保育の中でのプライバシー保護にも気配りが見られます。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	(a)・b・c
<p><コメント>よいこネットやパンフレット等々提供しています。よいこネットは日々更新し、新しい情報提供の努力をしています。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	(a)・b・c
<p><コメント>重要事項説明書、同意書等、当評価機関の実施した保護者アンケートでも、この点でいねいに説明していることが裏付けられる結果でした。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント>実際は口頭での対応や直接相談にのるなど、配慮した対応をしているものの、文書の作成はしていないので、今後の課題です。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント>年3回クラス懇談会を実施したり、希望があれば個人懇談の対応もしています。当評価機関実施の保護者アンケートで、保育参観の希望が多く出されています。今後の実施に期待します。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・(b)・c
<p><コメント>仕組みは確立していますが、十分活用している状況ではなく、苦情を出しやすい工夫と、そのことが保育の改善につながると保護者が確信できるような取り組みを期待します。</p>		

35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・(b)・c
<p><コメント>当機関実施のアンケートでも、個人懇談の要望が出ています。相談時のスペースの工夫と合わせて検討を期待します。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	(a)・b・c
<p><コメント>「意見箱」はまだ十分活用されていませんが、保護者の相談や意見に対して速やかな検討・対応が行われており、ハンドブックにも記載しており、記録も残しています。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	(a)・b・c
<p><コメント>事故報告書、ヒアリハット報告書、事故対応マニュアル等をもとに職員会議で再発防止策を検討する体制があります。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	(a)・b・c
<p><コメント>緊急時の対応の「必要グッズ」が用意され、感染症予防マニュアルに沿って対応しています。当評価室実施の保護者アンケートでも比較的高い評価でした。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	a・(b)・c
<p><コメント>立地条件と、過去の経緯を考え、「水路から水があふれた時のこと」を、市や消防署とも相談し、必要な対策を期待します。</p>		
40	Ⅲ-1-(5)-④ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	(a)・b・c
<p><コメント>給食マニュアルの中に食中毒対応マニュアルもあり職員に周知しています。</p>		
41	Ⅲ-1-(5)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	(a)・b・c
<p><コメント>不審者対応マニュアルがあり、避難訓練計画の中にも組み実施しています。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
42	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉保育課程に標準的な実施方法は書き、それに基づいて年間計画や月案等を作り保育を実施しています。		
43	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・Ⓑ・c
〈コメント〉行事ごとのアンケートや懇談会を通して保護者の意見を把握し、見直しをする仕組みはありますが、懇談会の充実等検討が望まれます。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
44	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉主任を責任者としてとして、アセスメントと保育課程をもとに、指導計画の策定がおこなわれています。		
45	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉これまで、乳児会議、幼児会議は不定期な開催でしたが、今年職員からの積極的な提案もあり、定期的にもつよう改善しました。指導計画の評価・見直しも定期的実施しています。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
46	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉個別の指導計画があり、適切に記録しています。		
47	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉「文書管理規定」があり、それに基づき記録の管理体制を確立しています。		

評価対象A 実施する福祉サービスの内容

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	(a)・b・c
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・(b)・c
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・(b)・c
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・(b)・c
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・(b)・c
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・(b)・c
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・(b)・c
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・(b)・c
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	(a)・b・c
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・(b)・c
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	(a)・b・c
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	(a)・b・c
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・(b)・c
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	(a)・b・c

特記事項

保育課程・指導計画・週案、日案など、必要な書類は常備しています。高砂市時代の建物は、日当たりが悪く、0才児室のテラスをサンルームとして増設しているため、0歳の子供達は比較的ゆったりとした空間を確保しています。1歳 2歳の日常の保育に於いては、子供の一人ひとりの受容や生活習慣を無理なくつけられるよう集団の大きさを考慮して保育することを期待します。

建て替えは予定しているものの、2歳児がトイレを一日数回使う時の不便さは今後、一考を望みます。

3歳児は36名を2クラスに分けています。4歳児では1クラスになることを考慮し、クラス間の日常的な連携を深め、無理なく4歳児に移行できるよう保育を進めていくことを期待します。

また、集団作りや主体的な活動に取り組む上では、当番活動の位置づけを明確にし、子供達が自主的に生活を作り上げていくことを課題として確認し合うことが大切です。

個人記録は丁寧で、一人ひとりの発達を大切にしていることがうかがえます。

描画活動にも取り組んでいますが、表現力や認識面での弱さを持っている子供が見受けられます。日常保育の中で、今後の取り組みを園全体で論議することで、子供たちの表現がより一層豊かになるよう期待します。

長時間保育は伝達用紙を活用し、丁寧に引継ぎをしています。18時に軽食が提供されますが、長時間保育の登録をしていない子供が残っている場合にも軽食を提供しています。

アレルギー症状を持つ子供が何人かいますが、誤食を避けるために所定のトレーを利用し、間違いの無いように名前プレートが置かれています。

職員の研修も積極的に取り組み、報告も整理して記録しています。

旬の食材を取り入れた献立、伝統料理や季節感を感じる行事（さんまの炭火焼きなど）、誕生会などでは子供が楽しんで食べられるような取り組みを工夫しています。毎月の献立にレシピを載せて保護者にも園の給食に関心を持ってもらえるような配慮があります。

保育課程には一部食育の項目はありますが、より具体的に食育計画を作成し、食に対する関心を深める取組を期待します。

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・ (b) ・c
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	(a) ・b・c
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	(a) ・b・c

特記事項

個別対応が必要な保護者の利用がたくさんあり、クラス懇談やグループ懇談以外にも常に相談窓口を開き、保護者の状況を迅速に把握し対応しています。

支援が必要な子どもたちも多く在園していて、虐待が疑われる時は、マニュアルに基づいて対応しています。必要に応じて、母子相談員等関係機関に連絡するなど、早期発見・早期解決を園長中心にチームワークを大切に解決に向けて努力しています。

今後、保護者同士の日常的なつながりの中で、子育ての悩みや職場の悩みが話し合える仲間づくりへと発展していくことを期待します。

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A④	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・b・c

特記事項

「今日の保育」、保育日誌、月案などで保育の振り返りをしています。個人の自己評価表を作成し、自己評価に基づき、園長・副園長が本人の気持ちに寄り添いながらいねいに面談して、今後の意欲につなげています。客観的に自分を評価できることも仕事に繋がって行きます。今後も継続して取り組むことを望みます。また、個々人の自己評価を園全体の保育の向上につなげていくことを期待します。